

# 市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.141  
2013/12/1

【毎偶数月1日発行】



発行者の住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12-305 TEL:03-3423-0185 FAX:03-3423-0266

共同代表：高橋武智 本野義雄 吉川勇一 郵便振替：00120-9-359506

eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

\* 隔月刊/購読料・送料とも年2500円、一部400円、協力会費年5000円、敬老・障がい者会費年2000円、グリーン会費年1000円

伊沢 洋「家族」(無言館所蔵)  
(作者の経歴は35ページ)



亡き洋の絵を守りつづけた兄の民介氏はこう語る。  
「うちは貧乏な農家だったから、こんなふうな一家団樂のひと、きなどいちども味わったことがなかった。きつと洋は戦地で、両親や私たちとの幸福な食卓風景を空想して、この絵を描いたんでしょよな」  
洋は、自分を貧しい家から美校に入学させてくれた親や兄弟への感謝を一生忘れなかった。  
楊木の生家の庭には、洋を美校に入れるために売った櫻の木けやきの切り株が今もこっている。  
(窪島誠一郎「無言館 戦没画学生「祈りの絵」(講談社)より)

## 市民の意見 141号 目次

● 巻頭詩 「健兄さんーN・日に」 石川逸子 2

■ 特集1 市民意見広告運動キックオフ集会「講演とライブ」

戦争と若者の未来を考える 澤地久枝 4

寺尾紗穂、トークアンドライブ 寺尾紗穂 7

意見広告運動ー憲法のかつてない危機 北原博子 9

■ 特集2 民衆を騙す安倍政権にどう対抗するか

デマゴギー政治の全面化 天野恵一 10

安倍政権下での憲法状況 飯島滋明 13

ドイツと日本の原発問題を考える 梶川ゆう 15

● 九条実現のために 古沢宣慶 17

● 非暴力と反軍の九条 (3)

● 運動の現場から 加藤宣子 19

沖繩の今 岡田和樹 20

受け継いだふるさとと上関原発 谷 民子 22

経産省前 テントひろばで

● アジアを見る 岡本和之 24

EU・タイ間のFTAに反対するタイ民衆

● 文化 吉川勇一 26

反戦交友録⑩ 中川六平さん

連載エッセイ③⑧ 「をった」 鈴木一誌 27

映画の紹介 「少女は自転車に乗って」 本野義雄 28

本の紹介 作品集「悼」Ⅲ 高橋武智 29

● 情報 吉田和雄 31

事務局だより

読者のおたより

まんが ふしぎの国のありか⑩ まつだたえこ 36

会計報告 35 編集後記

◆ 題字 安西賢誠 ◆ カット 村雲 司 36